

back numbers



TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS

なかけんトピックス

第38回静岡岡県青年の船 研修を終えて

建築工事部 鎌田 洋輔

私が今回行ってきたのは中国で、期間は12/29～1/8までの10泊11日です。参加者は50名程度、年齢は20～32歳、職業も公務員、会社員、フリーター、学生と様々でした。初日、2日目は船での移動で船内研修を行いました。

3日目に天津港から中国に上陸し、北京の精華大学までバスで移動し、学生との夕食会を行いました。精華大学は、日本で言う東大や京大クラスの中国でもトップクラスの大学で、大学生との会話はほとんど日本語が通じました。どの学生も日本に興味があるらしく、日本についての質問がとて多かったです。普通の旅行ではなかなか体験できない交流が持て、とても面白かったです。



か、生活自体が都市部に比べかなり遅れていました。実際は民宿のような感じで、ほとんどホストファミリーとの交流はありませんでしたが、精華大学生も同行したので楽しく過ごすことが出来ました。その後は、史跡見学、夜行列車で上海まで移動したりと、なかなか経験できないことの連続でした。

今回の研修は、「創造」共に踏み出す、新しい一歩」というテーマで、中国研修を行ったわけですが、普段では体験できないこと、考えられないことが多く経験でき、自分について見つめ直したり、何がやりたいのか、今どういう努力をしないといけないのか深く考えることが出来ました。また、いろいろな考え方や行動から良い刺激を受けることが出来、少し物事を深く考えられるようになりました。非常に有意義な11日間でした。この研修で学んだことをこれからの仕事に役立てていきたいと思っています。

「定休日制定」

定休日を設けると言うことは、作業能率の高揚また事故発生の未然防止の面から極めて緊要であることは論を待たない。一つの枠の中で働くと言う事に於いて、日曜日の嬉しさと言うものは、年齢を超えて変わりはないだろう。また一月も二月もぶっ続けに緊張が持続されるものであろうか。当然その間には倦怠も生じ

疲労も出るわけで、事故の起きるのはそういう時である。斯く考えた時、計画的な休息日と言うのが絶対に必要である。然しここに困った問題は、我が建設業は主として屋外労働のため、雨降りには殆ど作業ができないことである。降雨日を休み、定休日を休んだのでは当然労働者は収入減となり、生活苦を生ずること

となる。それでは、雨降りを定休日に振替ると言う事は従来の考え方で、決して建設業の進歩発展とはなり得ない。明日の建設を担うものはすべてこの諸君達でなければならぬ。諸君の新たな自覚と努力を期待したい。

■社報「中建」1963年3月27日発行

Welcome!

新入社員紹介



Takeharu Nagura

名倉 文晴 ●昭和59年9月18日生
●愛知工業大学工学部土木工学科卒
●趣味 野球・サイクリング
●長所 切り替えが早い



Hiroki Kobayashi

小林 寛樹 ●昭和63年6月20日生
●浜松工業高校 土木科卒
●趣味 ラグビー・スポーツ観戦
●長所 いつも元気



Mayumi Shinmura

新村麻由美 ●昭和59年6月13日生
●岐阜女子大学家政学部住居学科卒
●趣味 美術・習字
●長所 協調性があると思います



Kazuki Kudo

工藤 和樹 ●昭和62年6月7日生
●浜松工業高校 建築科卒
●趣味 陸上競技・映画鑑賞
●長所 いつも明るく元気なところ



Shingo Hakamada

袴田 真伍 ●昭和60年11月2日生
●あいち建築デザイン専門学校
●工業専門課程建築ライセン斯科卒
●趣味 ギター・水泳・スポーツ観戦
●長所 常に明るく、元気な所



Naoya Matsumoto

松本 直也 ●昭和60年11月23日生
●あいち建築デザイン専門学校
●工業専門課程建築ライセン斯科卒
●趣味 サッカー・旅行・音楽鑑賞
●長所 何事にも前向きなこと



Go Odaka

尾高 豪 ●昭和61年6月7日生
●東海工業専門学校
●工業専門課程大工技術科卒
●趣味 水球・サッカー・スポーツ観戦
●長所 何事にもめげず明るくがんばれる